

殺虫剤

ディブテレックス[®]乳剤

日本曹達(株) 農業化学品事業部 普及グループ



はじめに

ディブテレックス乳剤はドイツのバイエル社が創製した低毒性の有機リン系殺虫剤で、現在では保土谷UPL株式会社に権利譲渡されています。本剤の特長はチョウ目、コウチュウ目、カメムシ目害虫等に有効な幅広い殺虫スペクトラムにあるといえます。

弊社では、平成22年2月より販売を開始しました。本剤（登録番号：第3233号）の物理的性状、安全性、使用方法等についてお知らせしたいと思います。

有効成分と物理化学的性状

1. 有効成分：DEP（トリクロロホン）
2. 製剤：50%乳剤
3. 形状：可乳化油状液体

安全性

急性毒性：劇物

急性経口毒性 LD₅₀（ラット） ♂：>940mg/kg
 ♀：>750 mg/kg
 LD₅₀（マウス） ♂：>1,100 mg/kg
 ♀：>1,100 mg/kg
 急性経皮毒性 LD₅₀（ラット） ♂：>5,000mg/kg
 ♀：>5,000mg/kg
 LD₅₀（マウス） ♂：>5,000mg/kg
 ♀：>5,000 mg/kg

刺激性：

皮膚刺激性 弱い刺激性あり（500倍希釈液は刺激性なし）（ウサギ）

眼刺激性 刺激性あり（500倍希釈液は刺激性なし）（ウサギ）

感作性 軽～中程度の感作性あり（モルモット）

環境影響：水生生物、カイコ、ミツバチ、有用昆虫等に影響あり。

登録内容(表1)と使用上の注意

本剤はカイコ、ミツバチ、有用昆虫に対して影響がある原体です。ご使用にあたっては、周辺の桑葉やミツバチ巣箱等に直接散布することや、その周辺に飛散する恐れがある場合には使用をさけてください。

また、使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に始めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

おわりに

本剤は1957年に登録認可され、約50年の長きにわたって皆様に愛され続けてきた歴史があります。今後もその殺虫スペクトラムの広さや特長をご理解いただき、効果的に使用して頂ければ幸いです。

最後になりましたが、本剤の開発に協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

表 1 適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DEPを含む農薬の総使用回数		
稲	ニカメイチュウ第1世代	700倍	収穫14日前まで	4回以内	散布	4回以内		
	ニカメイチュウ第2世代 サンカメイチュウ第3世代	500倍						
	フタオビコヤガ	2000倍						
	イネツトムシ、イネドロオイムシ ウンカ類、アワヨトウ	1,000倍						
	カメムシ類	500～1,000倍						
	イネヒメハモグリバエ	700～1,000倍						
みかん	カメムシ類	800～1,000倍	収穫30日前まで	5回以内		5回以内		
りんご	ハマキムシ類、マイマイガ	1,000～1,200倍	収穫14日前まで	3回以内		3回以内		
かき	カメムシ類、イラガ類、ミノガ類	1000倍	収穫7日前まで	5回以内		5回以内		
なし	ハマキムシ類	500～1,000倍	収穫7日前まで	5回以内		5回以内		
ぶどう	コガネムシ類成虫	1000倍	収穫30日前まで	2回以内		2回以内		
キウイフルーツ	カメムシ類、コガネムシ類 ハマキムシ類、ミノガ類		収穫60日前まで	4回以内		4回以内		
くり	モモノゴマダラノメイガ		500倍	裂果前		5回以内	5回以内	
メロン まくわうり	ウリハムシ成虫	800～1,000倍	収穫前日まで	4回以内		4回以内		
	アブラムシ類	500～1,000倍						
すいか かぼちゃ	ウリハムシ成虫	800～1,000倍	収穫7日前まで	6回以内		6回以内		
	アブラムシ類	500～1,000倍						
いちご	ドウガネブイブイ幼虫	1000倍	移植活着後 (仮植床)	3回以内	1㎡当り2L 苗床灌注	3回以内		
	アブラムシ類	500～1,000倍						
	イチゴメセンチュウ	500倍						
なす	テントウムシダマシ類、ヨトウムシ アブラムシ類	1,000倍	収穫前日まで				4回以内	4回以内
きゅうり	ウリハムシ成虫、アブラムシ類	1,000倍						
食用へちま	ヒメクロウリハムシ	1,000倍	収穫7日前まで	6回以内	6回以内			
だいこん	コナガ、ヨトウムシ、アオムシ キスジノミハムシ成虫	1,000倍	収穫14日前まで	6回以内	6回以内			
	ハイマダラノメイガ	800～1,000倍						
	アブラムシ類	500～1,000倍						
かぶ	コナガ、ヨトウムシ、アオムシ キスジノミハムシ成虫	1,000倍	収穫21日前まで	1回	1回			
カリフラワー	ハイマダラノメイガ、アブラムシ類	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内	2回以内			
はくさい	コナガ、ヨトウムシ、アオムシ キスジノミハムシ成虫	1,000倍	収穫7日前まで	5回以内	5回以内			
	ハイマダラノメイガ	800～1,000倍						
	アブラムシ類	500～1,000倍						
キャベツ	コナガ、ヨトウムシ、アオムシ キスジノミハムシ成虫	1,000倍	収穫7日前まで	6回以内	6回以内			
	ハイマダラノメイガ	800～1,000倍						
	アブラムシ類	500～1,000倍						
畑わさび	カブラハバチ、アオムシ、コナガ ヨトウムシ	1,000倍	収穫30日前まで	2回以内	2回以内			
わさび		1,000倍	畑育苗期					
にんじん	キアゲハ幼虫	800～1,000倍	収穫14日前まで	3回以内	3回以内(粒剤は2回以内)			
ばれいしょ	テントウムシダマシ、ヨトウムシ	1,000倍		6回以内	6回以内			
	アブラムシ類	500～1,000倍						
みずいも	ハスモンヨトウ	1,000倍	収穫21日前まで	3回以内	3回以内			
かんしょ（茎葉）	ナカジロシタバ			2回以内	2回以内			
かんしょ	ナカジロシタバ、ハスモンヨトウ イモコガ	700～1,000倍	収穫14日前まで	4回以内	4回以内			
	アカビロウドコガネ成虫	500倍						
てんさい	ハスモンヨトウ	1,000倍				6回以内	6回以内	
	ヨトウムシ	500～700倍						
茶	コカクモンハマキ、チャドクガ チャノホソガ	1,000倍	摘採14日前まで	2回以内	2回以内			
たばこ	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ タバコアオムシ	1,000倍	－	－	－			

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DEPを含む農薬の総使用回数
芝	スジキリヨトウ	1,000倍	発生初期	6回以内	散布	6回以内
いね科牧草	アワヨトウ	1,000倍	収穫45日前まで	4回以内		4回以内
まめ科牧草	ハスモンヨトウ、ゾウムシ類	500倍				
とうき	キアゲハ	2,000倍	収穫30日前まで	3回以内		3回以内
桑	クワノメイガ、アメリカシロヒトリ、ヒシモンヨコバイ、ハゴロモ類	1,000倍	摘採14日前まで	－		－
花き類・観葉植物（カーネーション、宿根かすみそう、ほおずきを除く）	ヨトウムシ類	1,000倍	発生初期	6回以内		6回以内
カーネーション	アオムシ、コナガ、ハモグリバエ類、ヨトウムシ類	1,000倍				
宿根かすみそう	ハモグリバエ類、ヨトウムシ類	1,000倍				
ほおずき	テントウムシダマシ類、カメムシ類、ヨトウムシ類	1,000倍				
樹木類（さんごじゅを除く）	マツケムシ、ウメケムシ、マイマイガ、モンクロシャチホコ、ミノガ類、クスサン、ミノウスバ、チャドクガ、キオビエダシヤク、ユウマダラエダシヤク	1,000倍	－	－		－
	アメリカシロヒトリ	1,500倍				
さんごじゅ	アブラムシ類、ワタノメイガ、マツケムシ、ウメケムシ、マイマイガ、モンクロシャチホコ、ミノガ類、クスサン、ミノウスバ、チャドクガ、キオビエダシヤク、ユウマダラエダシヤク	1,000倍	発生初期	6回以内		6回以内
	アメリカシロヒトリ	1,500倍				
まつ類	マツノキハバチ、カラマツアカハバチ	1,000～1,500倍	幼虫期	－		－
いちょう（種子）	クスサン	1,000倍	収穫30日前まで	3回以内	3回以内	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用流量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DEPを含む農薬の総使用回数
稲	ニカメイチュウ、フタオビコヤガ、イネツトムシ、ウンカ類、アワヨトウ、カメムシ類、イネドロオイムシ、イネヒメハモグリバエ	20倍	3～4 L／10 a	収穫14日前まで	4回以内	空中散布	4回以内
	カメムシ類	5倍	0.8L／10 a			無人ヘリコプターによる散布	
くり	モモノゴマダラノメイガ	10倍	3 L／10 a	裂果前	5回以内		5回以内
桑	クワノメイガ、アメリカシロヒトリ	50倍	3～4 L／10 a	摘採14日前まで	－	空中散布	－
		10倍	0.8 L／10 a				
	ハゴロモ類	6倍					
まつ	マツカレハ	60倍	6 L／10 a	幼虫期			